

第1章 はじめに

第2章 浜名湖圏域流域水循環計画とは

第3章 浜名湖圏域の現状と課題

- ・ 浜名湖圏域における現状と課題を記載する

第4章 浜名湖圏域の理念、目指すべき姿

- ・ 流域ごとの理念に基づき、将来目指すべき姿を定める

第5章 健全な水循環の維持又は回復に関する目標

- ・ 条例第9条から第14条までの各施策及び5つの分類に基づき、水循環の維持・回復に関する地域の目標を立案し記載する

第6章 目標を達成するために実施する施策

- ・ 上記目標を達成するため、現在実施中又は今後実施すべき施策を記載する

第7章 健全な水循環の状態や計画の進捗状況を表す指標

- ・ 水循環の健全性に関する指標を使って定量的、定性的に評価する
- ・ 計画の進捗状況を指標を使って評価し、水循環に関する取組の向上を図る

第1章 はじめに

流域水循環計画（条例第15条）

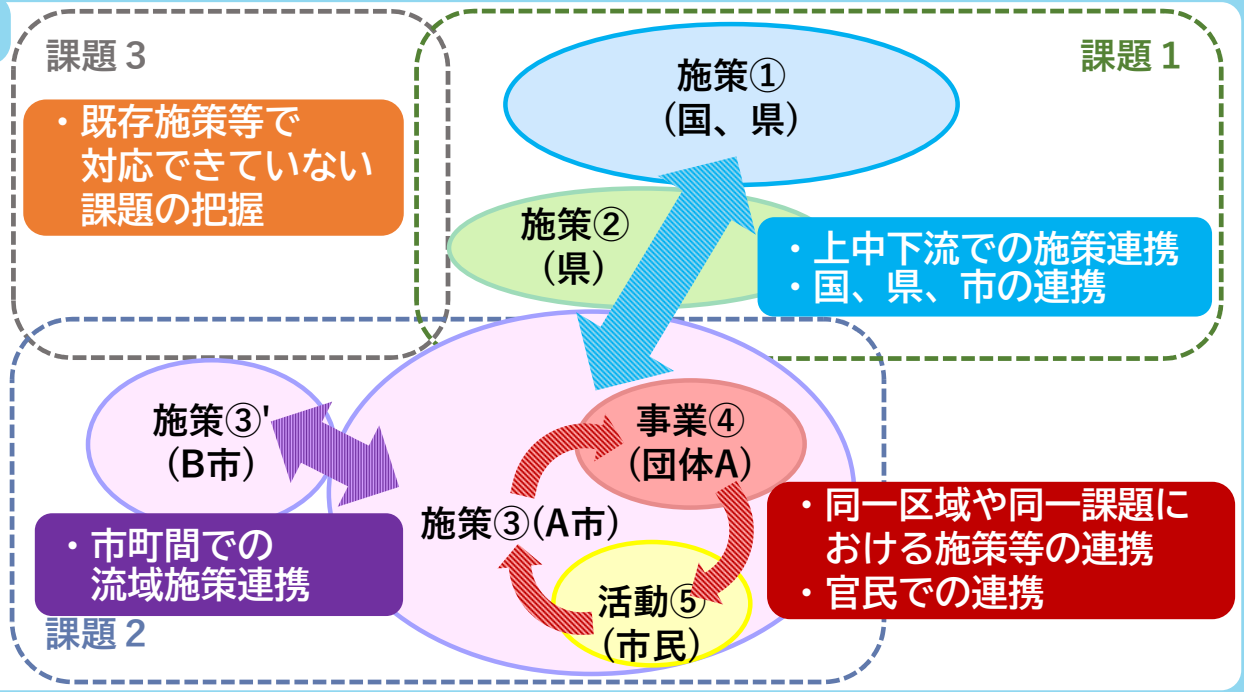
流域における健全な水循環の保全に関する施策の効果的な推進を図るため、必要な**流域毎に流域水循環計画を定める**。



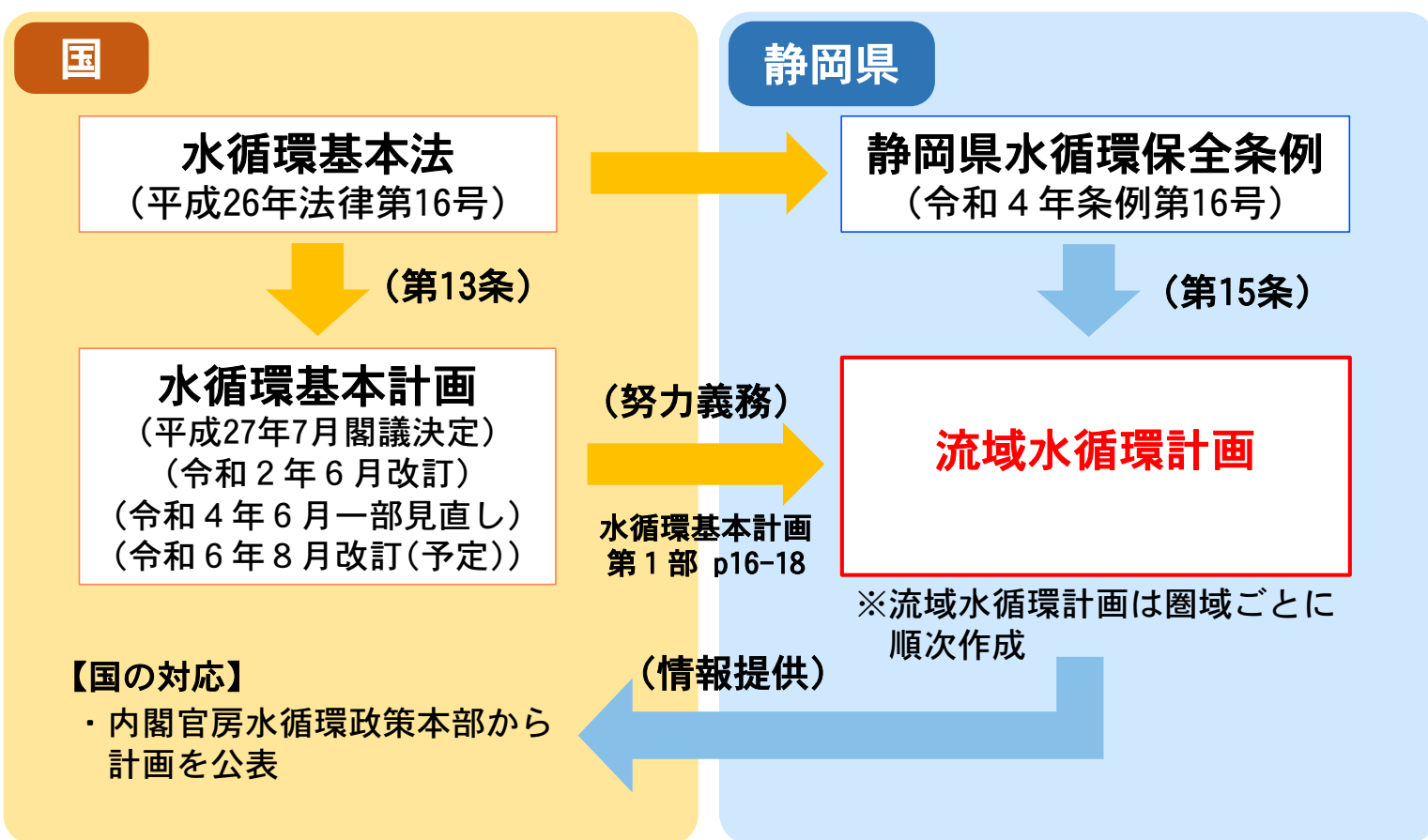
計画の性格と位置づけ

- ・ 理念や将来目指すべき姿を共有し、水循環施策等を連携して実施
- ・ 既存施策で対応できていない課題を新たな取組につなげる

浜名湖圏域

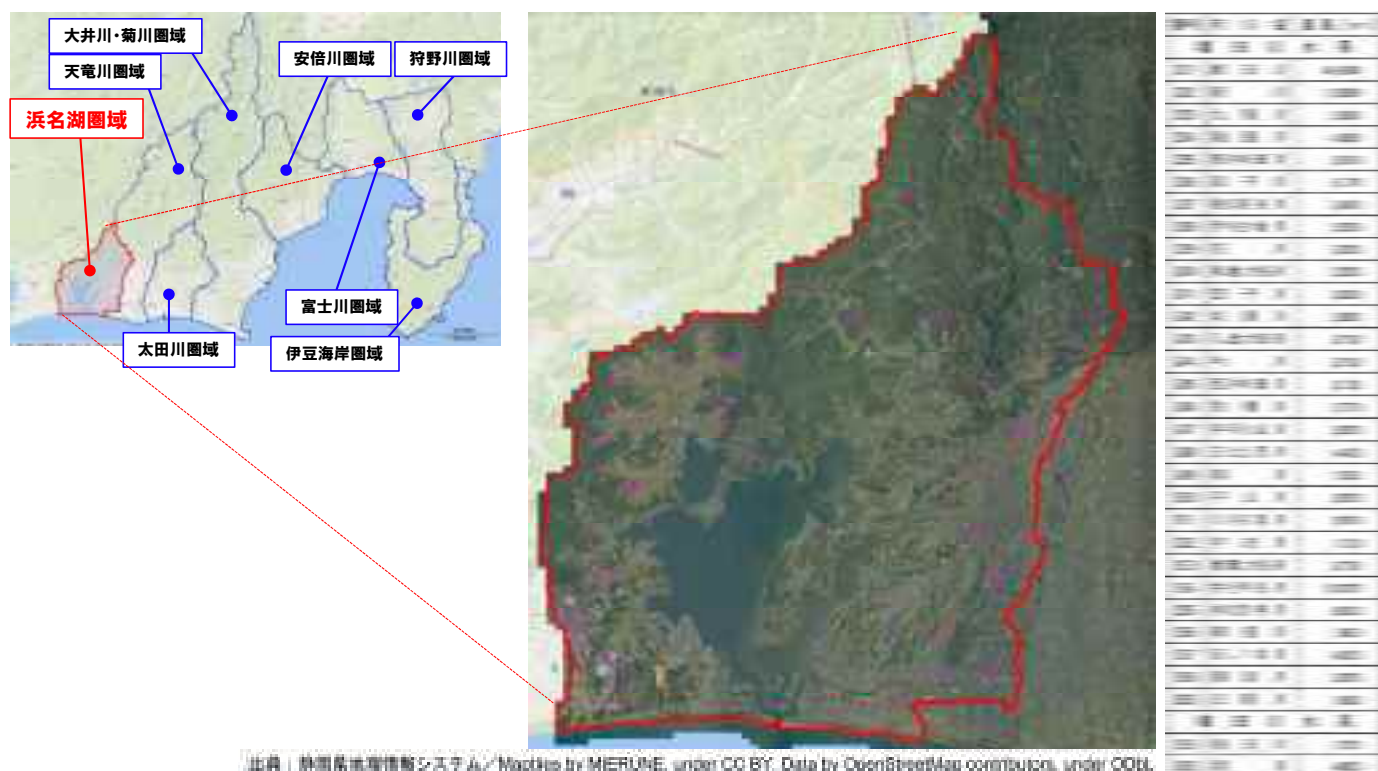


計画の性格と位置づけ



計画の範囲

対象水系	都田川水系、梅田川水系
圏域面積	529 km ² (都田川水系：524 km ² 、梅田川水系：5 km ²)
関係市町	浜松市(浜名区及び中央区の一部)、湖西市



流域水循環計画の策定目的

流域水循環計画の策定目的

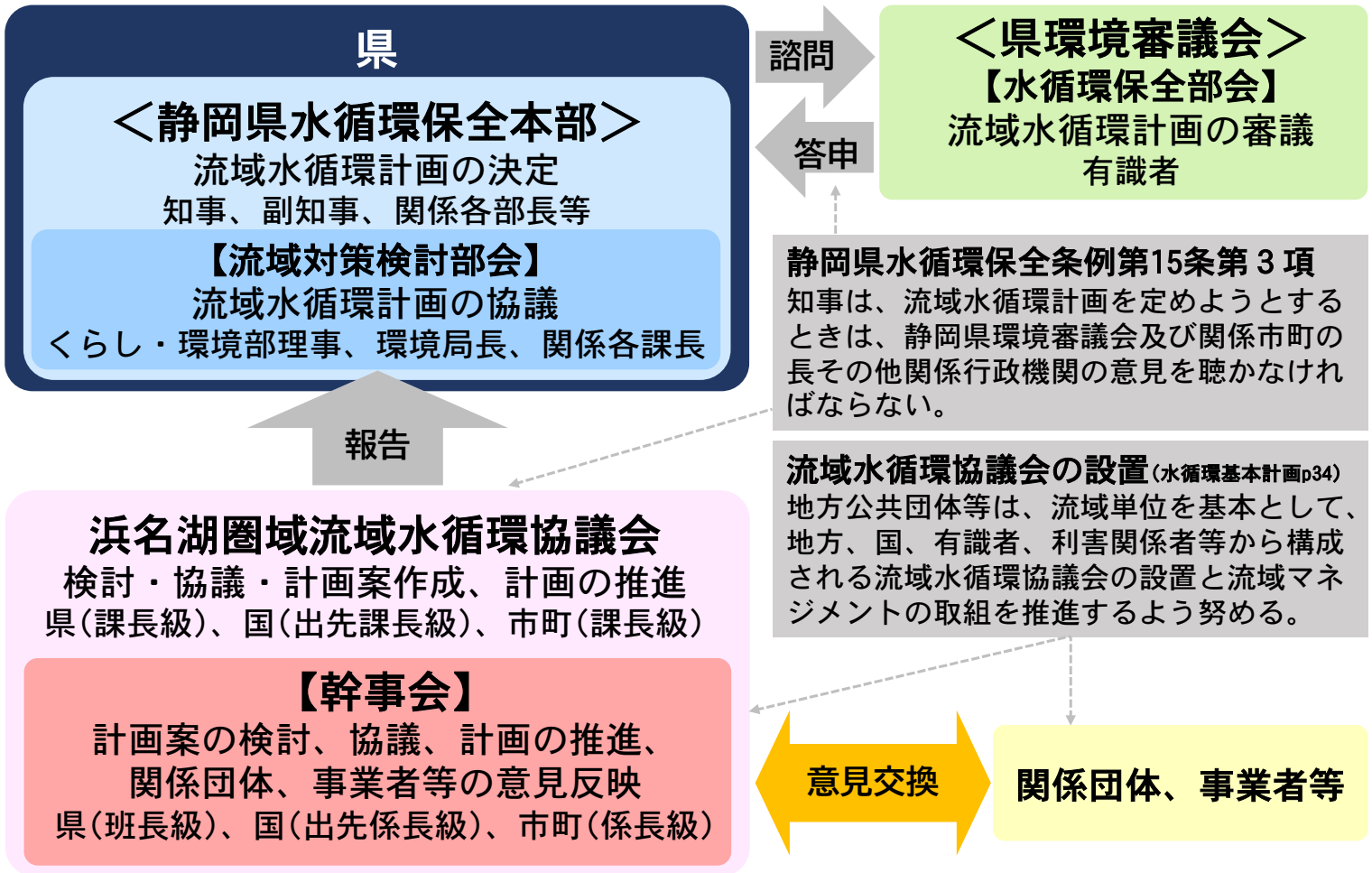
「流域マネジメントの更なる展開と質の向上」

○流域マネジメントとは

森林、河川、農地、都市、湖沼、沿岸域、地下水盆等において、健全な水循環を保全するため、流域において関係する行政等の様々な主体が連携して活動すること。

流域水循環計画の策定効果

- ・ 水循環に関する施策の目的、効果、課題等を様々な主体が理解、共有することによる**一体感の創出**
- ・ 流域における様々な主体が一体となり連携して推進する必要がある**課題への解決策の効率的な実施**
- ・ 流域のブランド力の向上による**地域の活性化**



浜名湖圏域の概要

対象水系	都田川水系、梅田川水系
圏域面積	529km ² (都田川水系：524km ² 、梅田川水系：5km ²)
関係市町	浜松市(浜名区及び中央区の一部)、湖西市
土地利用(H21現在)	市街地:約18% 農地:約25% 林地:約37% 水面:約15% その他:約2%
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・都田川水系は、二級河川水系としては県内最大の流域面積を有する。 ・都田川水系の最下流部に位置する浜名湖(面積約70km²)は、太平洋側で最大の汽水湖であり、県立自然公園及び名勝地に指定されている。 ・梅田川は、静岡-愛知県境を南流した後、境川と合流し三河湾に注ぐ。
水利用	上水 遠州広域水道、浜松市上水道 農水 三方原用水、浜名湖北部用水、湖西用水 工水 西遠工業用水道、湖西工業用水道
地下水(湧水を含む)	利用量 浜松市 65,419m ³ /日※(圏域外含む) 湖西市 9,243m ³ /日※ ※数字はR2年度現在における集計値
災害	昭和49,50年に広域な浸水被害発生、以降は局所的な水害が度々発生
生態系	多くの貴重種が生息、水生生物の生息密度が高い

浜名湖圏域の現状と課題

分類	現状	課題
水質	■公共用水域における環境基準を満たしていない地点が見られる	浜名湖の適切な水質維持
	■地下水塩水化は改善傾向にあるものの、一部解消されていない地点が見られる。	地下水塩水化対策
	●農業用水や浄水場に流入する水に混入する泥等が増加している	河川や用水路等のモニタリング及び泥等の増加原因究明
水量	■過去10年間の取水制限日数が多い	取水制限時の適正な水利調整
		浜名湖北部地域における代替水源確保
災害・治水	○気候変動に伴い水害等が激甚化している	水害等による被害の最小化
	■土砂災害危険箇所整備率が低い	土砂災害危険箇所の整備率向上
	■県管理河川整備率が低い	県管理河川の整備率向上
自然環境	○河川の流草木により漁業被害等が発生している	流草木の処理
	○森林所有者による整備が困難なため荒廃した森林がある	荒廃森林の再生
	■レッドデータブックに記載のある、絶滅の恐れがある種の数が多い	生物多様性の保全
暮らし	■多面的機能支払交付金活動面積が大きい	多面的機能支払交付金の活動支援
	●浜名湖が県指定名勝に指定されている	県指定名勝浜名湖の保全
	●水産資源の減少に伴い漁業経営に影響が生じている	水産資源の回復

■浜名湖圏域において緊急性評価の点数※が低い項目に関連する課題 ○全県で共通の課題 ●浜名湖圏域特有の課題

※県内の各圏域における流域の緊急性を評価した点数(令和5年度の策定順検討に用いたもの)

浜名湖圏域の現状と課題(水質)

分類	現状	課題
水質	■公共用水域における環境基準を満たしていない地点が見られる	浜名湖の適切な水質維持
	■地下水塩水化は改善傾向にあるものの、一部解消されていない地点が見られる。	地下水塩水化対策
	●農業用水や浄水場に流入する水に混入する泥等が増加している	河川や用水路等のモニタリング及び泥等の増加原因究明

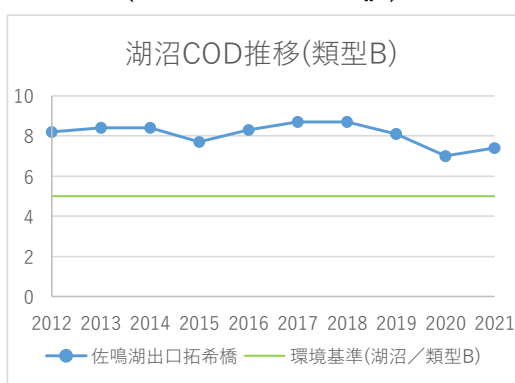
公共用水域の水質は改善傾向にあるが、数地点で依然基準を満たしていない

三方原用水等の農業用水や浄水場において、泥等の混入量が増加している

公共用水域におけるBOD等環境基準の達成地点数※

測定項目	調査年度	全体	類型C	類型B	類型A
BOD (河川)	R3	4/4	1/1	1/1	2/2
	H24	4/4	1/1	1/1	2/2
COD (湖沼・海域)	R3	13/16	-	5/7	8/9
	H24	10/16	-	4/7	6/9
DO (河川・湖沼・海域)	R3	18/20	1/1	8/8	9/11
	H24	20/20	1/1	8/8	11/11

佐鳴湖出口拓希橋の湖沼COD推移 (2012-2021：75%値)



※分母：調査地点数、分子：達成地点数

浜名湖圏域の現状と課題(水量、災害・治水)

分類	現状	課題
水量	■過去10年間の取水制限日数が多い	取水制限時の適正な水利調整 浜名湖北部地域における代替水源確保

圏域外の河川水系の湧水により、圏域内で取水制限が発生している

直近10年間及び前10年間の取水制限日数

年度	天竜川	豊川	計(重複除く)
H15~H24	275	120	334
H25~R4	511	140	588



分類	現状	課題
災害・治水	○気候変動に伴い水害等が激甚化している	水害等による被害の最小化
	■土砂災害危険箇所整備率が低い	土砂災害危険箇所の整備率向上
	■県管理河川整備率が低い	県管理河川の整備率向上

近年の被災は比較的少ないが、気候変動等に備えて対策を講じる必要がある

被災家屋棟数	土砂災害発生件数	県河川整備率	土砂災害危険箇所整備
93棟/10年間	69件/10年間	18.7%※1	24.3%※2

※1 県の河川整備計画上の整備延長に対する整備済延長 ※2 土砂災害危険箇所数に対する概成箇所(溪流)数

浜名湖圏域の現状と課題(自然環境、暮らし)

分類	現状	課題
自然環境	○河川の流草木により漁業被害等が発生している	流草木の処理
	○森林所有者による整備が困難なため荒廃した森林がある	荒廃森林の再生
	■レッドデータブックに記載のある、絶滅の恐れがある種の数が多い	生物多様性の保全

浜名湖の湖岸に流草木が蓄積し、湖岸利用に影響

管理が行き届かない森林の荒廃は全県的な課題

生物種が豊富であるため、保全すべき種の数が多い

管理が行き届いていない森林の例



分類	現状	課題
暮らし	■多面的機能支払交付金活動面積が大きい	多面的機能支払交付金の活動支援
	●浜名湖が県指定名勝に指定されている	県指定名勝浜名湖の保全
	●水産資源の減少に伴い漁業経営に影響が生じている	水産資源の回復

活動面積が大きく、保全すべき農地面積が広い

県指定名勝に指定されている範囲や周辺での開発増加

近年、アサリ等の水産資源が減少、回復が望まれる



浜名湖の景観
(しずおか文化財ナビより)

浜名湖圏域で実施している水循環に関する施策

- ・多くの課題に対し、現状の関連計画において対応がなされている
- ・関連計画での対応がない課題は、新たな対応や連携を検討する

分類	課題	課題の 緊急性	関連計画への 記載状況	備考
水質	浜名湖の適切な水質維持	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
	地下水塩水化対策	□	□	現状の精査と対応の必要性の確認
	河川や用水路等の泥等の原因究明	△	△	他流域も含めた対応策の検討が必要
水量	取水制限時の適正な水利調整	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
	浜名湖北部地域における代替水源確保	□	△	現状の精査と対応策の検討が必要
災害・治水	水害等による被害の最小化	□	○	気候変動の評価が必要
	土砂災害危険箇所の整備率向上	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
	県管理河川の整備率向上	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
自然環境	流草木の処理	□	□	現状の把握と連携を検討
	荒廃森林の再生	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
	生物多様性の保全	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
暮らし	多面的機能支払交付金の活動支援	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
	県指定名勝浜名湖の保全	○	○	現状の対応の継続と確実な実施
	水産資源の回復	□	○	現状の精査と対応の継続

※課題の緊急性の凡例 ○：中長期的に対応すべき △：影響が確認され短期的に対応すべき □：影響や要因の把握が必要
 ※関連計画への記載状況の凡例 ○：対応策の記載がある △：課題は把握されているが対応策が明確でない □：記載がない

民間団体等の取組事例

関連施策・活動	分類				
	水質	水量	災害・治水	自然環境	暮らし
浜名湖クリーン作戦、湖岸ごみ除去対策事業	◎				○
植物分布調査、植生図作成調査、外来植物撲滅大作戦				◎	
浜名湖クリーン作戦(浜名湖岸一斉清掃イベント)の実施等	◎			○	○
アマモの保全活動(静岡大学との連携)	○			◎	○
棚田等の保全活動		○	○		◎
耕作放棄地の再生活動、農業体験、商品化		○	○		◎
環境学習プログラムの実施	○			○	◎
森林資源を活用した商品開発	○	○	○	◎	○
浜名湖周辺の体験プログラム実施等				○	◎
航行の安全対策、航行・漁業に関するルールの啓発					◎
水産資源を活用した商品開発				○	◎

(凡例) ◎：活動の目的に最も近い分類 ○：その他、活動目的に合致する分類

浜名湖圏域流域水循環計画の理念（案）

いのちと恵みをはぐくむ母なる水「とおつおうみ」に生きる
～豊かな生態系と多様な産業の持続のために～

【アンケート結果】

「浜名湖圏域の理念」に含めたい言葉・・・

順位	主語	修飾語	述語
1	生態系	持続可能な	保全する
2	森林	豊かな	再生する
3	里山・産業・恵み	きれいな・健全な	維持（管理）する

【他県等の事例】

「みんなでつなぐいのちの水」～守り、育て、未来へ～ / 南三陸海岸流域水循環計画（宮城県）他（宮城県他流域計画）

「水にふれ、水に学び、水とともに生きる」～連携による流域の健全な水循環の継承～
/ 「水との共生」プラン（福島県）

「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来につなぎ」～印旛沼流域創生に向けて水循環健全化の取組をつむぎ・つなげる～
/ 「印旛沼・流域再生 恵みの沼をふたたび」印旛沼流域水循環健全化計画（印旛沼流域水循環健全化会議）

浜名湖圏域が目指すべき水循環の姿(案)

水循環の健全化を通じ、次の姿を目指します

◆ 浜名湖を中心とした圏域の生物多様性の保全と再生

対応する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水質（浜名湖の適切な水質維持） ・自然環境（流草木の処理、荒廃森林の再生、生物多様性の保全） ・暮らし（多面的機能支払交付金の活動支援、県指定名勝浜名湖の保全、水産資源の回復）
--------	---

◆ 多種多様な産業（農・林・水産・工・観光）のバランスのとれた発展

対応する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水質（地下水塩水化対策、河川や用水路等のモニタリング及び泥等の増加原因究明） ・水量（取水制限時の適正な水利調整、浜名湖北部地域における代替水源確保） ・暮らし（多面的機能支払交付金の活動支援、県指定名勝浜名湖の保全、水産資源の回復）
--------	--

◆ 水災害（水害・土砂災害、渇水）に対するレジリエンスの向上

対応する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水量（取水制限時の適正な水利調整、浜名湖北部地域における代替水源確保） ・災害・治水（水害等被害最小化、土砂災害危険箇所及び県管理河川の整備率向上）
--------	--

【アンケート結果】

順位	目指すべき姿として、最もふさわしいもの
1	・ 流域の水質、水量、自然環境などが適切に調整されることで、農業、林業、水産業、工業、観光業のバランスが保たれている。
2	・ 流域の開発が適正に行われたり、生物が保全されることで、豊かな生態系が保全されている。